



世界、日本中のどこかで、毎年  
気候変動の影響により、夏は暑い日が続いたり  
ゲリラ豪雨や気象災害などが起こっています。

この影響をゆるめるには、  
**今から10年の行動が勝負**  
(でないと手遅れになる)  
とされています。

# 京田辺気候変動市民会議 立ち上げます。

今、世界では、全ての分野において脱炭素化が必要であり、制度や技術だけでなく、暮らし方、人々の意識や選択も抜本的に変えていく必要があると言われています。  
フランスでは、抽選で選ばれた市民が集まり、6つのテーマ（消費、生産／働く、移動、住、食、環境保護）について、気候変動へどう暮らしを変えていくのか、考え、提言をまとめました。

現在、京田辺市では、地球温暖化対策に関する市域全域の計画づくりを行っています。そんな中、京田辺市でも、地域の主役である市民が集まり、どう暮らしを変えていくのか、どんな未来を選択するのか、考える場を開くことになりました。

市民が集まり、学び、考え、提言をまとめる機会を4回程度（3月～夏頃にかけて月1回程度）、開催したいと考えています（詳細は裏面）。

**あなたも、未来の自分や子どもたちのために、  
これからの10年間について、本気で考えませんか？**



**参加者を募集しています。3/3(木)締切**

○対象（定員：20名程度。まずは参加登録をお願いします。）  
市民及び本市内に所在する企業や学校（高校、大学）に通勤通学する者で  
メール、オンライン会議での対応が可能な方

○参加登録（登録後の流れは、裏面をご確認ください）  
ご参加を希望される方は、  
下記URLまたは右記QRコードからご登録ください。  
<https://forms.gle/Y8qSX9pyWm6jQPmT8>  
日程等の詳細について、ご連絡いたします。

○問い合わせ先  
京田辺市 経済環境部 環境課 （担当：島田）  
電 話：0774-64-1366（直通）  
E-mail：kankyo@city.kyotanabe.lg.jp



## ■京田辺気候変動市民会議概要

今、国内外でどのようなことが起こっているのかを知り、地域に次世代が、住み続けることができるよう、市民はどんなことを選択していく必要があるのかについて、議論を行います。ぜひ、2050 年の主役である若い方にもご参加いただければと思っています。

◇対象：市民及び本市内に所在する企業や学校（高校、大学）に通勤通学する者でメール、オンライン会議での対応が可能な方

※新型コロナウイルス感染拡大等の関係からオンラインでの実施の可能性もあります。

◇定員：20 名程度（応募多数の場合は、年齢等のバランスを考慮し、選定いたします。）

◇実施概要(案)

第1回	3～4月	◇話題提供：国内外の動向（科学的知見）、市民の動き、市の課題や将来予測について知る
第2回	4～5月	◇グループディスカッション ＊市民の半分、市民の全てが2030年、2050年までに実施すべきと思う未来の暮らしを考える
第3回	5～6月	◇テーマ別（住／暮らし／食／働く／自然 など）ディスカッション
第4回	6～8月	＊テーマ別に、参加者の方が明日から取り組むこと、5年以内に実現したいことなどを整理

◇実施までの流れ

参加登録(2/25 日まで)

→「ご希望いただいた方へ実施概要のご案内(応募多数の場合：選定結果をご連絡)」→「第1回への参加」

## ■参考：国内外で展開されている気候市民会議

◇フランス気候市民会議

市民団体の提案を受け、政府が2019年10月に国政参加チームを設置し、抽選で選ばれた150人の市民代表が、市民の目線で気候変動対策を議論し149の政策を提言しました(2020年6月)。提言例としては、下記のような項目です。

<提言例>

- ・ 旅客機の利用制限。列車により2時間半以内で結ばれる短距離の航空路線の運航を禁止する。
- ・ 社員食堂等の給食サービスに2025年より学校給食並みの規則(食材の50%を「持続可能又は質の高い製品」に、20%をオーガニックに)を適用する。
- ・ ガラスビンのデポジット制度導入。2025年を導入の目標に設定した。
- ・ 住宅の断熱リフォームの推進。

◇国内の気候市民会議

国内でも、無作為に選ばれた一般市民が地球温暖化について議論し、行政に対する提言をまとめる「気候市民会議」が2020年11～12月、札幌市で開かれました。

市が住民基本台帳から無作為に選んだ16歳以上の市民3千人に案内し、応募した48人から年代や性別などが市の構成に近くなるように20人が選ばれ、議論を行い、とりまとめを行いました。